

在宅介護実態調査（速報）

I 調査の概要

（１）調査の目的

令和6年度から令和8年度までを計画期間とした第9期の計画策定に向け、要介護者の生活状況や介護者の就労状況等の把握、効果的な支援、サービスのあり方を検討するため。

（２）調査の設計

調査対象者	認定有効期間が、令和4年11月1日以降の要支援・要介護認定者のうちの在宅生活者 674 人
配布・回収方法	郵送による調査票の配布及び回収
調査の期間対象	2023年（令和5年）1月31日～3月24日

（３）回収の結果

配布数	回収数	回収率
674	333	49.4%

（４）報告書の見方

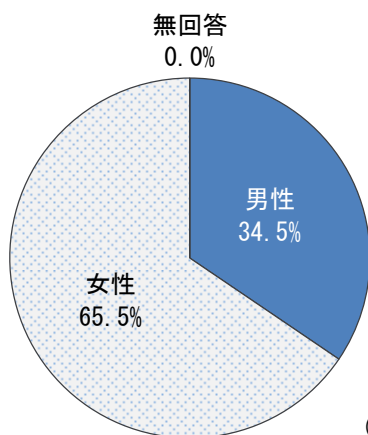
- 1 回答は各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（％）で示しています。小数点第2位を四捨五入しているため、比率の合計が100.0%とならない場合があります。
- 2 複数回答を求めた質問では、回答比率の合計が100.0%を超えます。
- 3 回答があっても、小数点第2位を四捨五入して0.1%に満たない場合は、表・グラフには「0.0」と表記しています。

Ⅱ 調査結果

1 回答者の属性

(1) 性別

- ◆ 回答者の性別は男性が34.5%、女性が65.5%で、女性の割合が高くなっています。

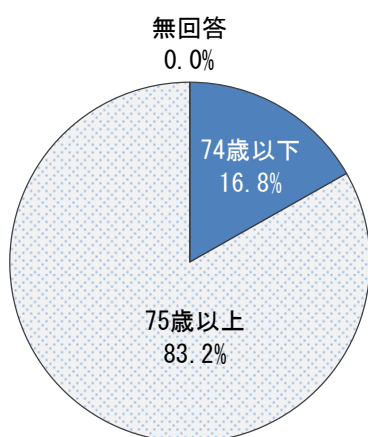


	回答数	(%)
男性	115	34.5
女性	218	65.5
無回答	0	0.0

(2) 年代

(n=333)

- ◆ 年齢は74歳以下が16.8%、75歳以上が83.2%となっています。

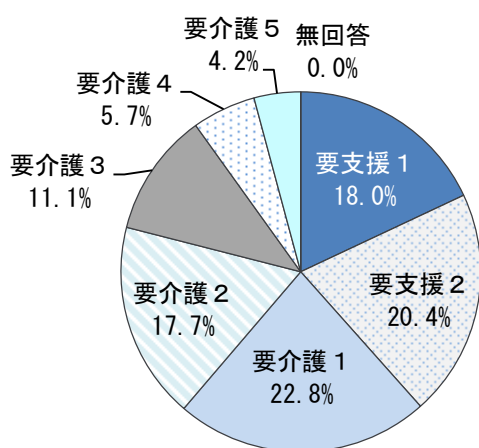


	回答数	(%)
74歳以下	56	16.8
75歳以上	277	83.2
無回答	0	0.0

(n=333)

(3) 要支援・要介護度

- ◆ 要支援・要介護度では要支援1～2が38.4%、要介護1～2が40.5%、要介護3～5が21.0%となっています。

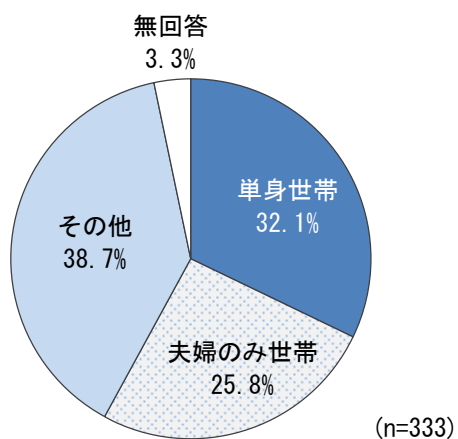


(n=333)

	回答数	(%)
要支援1	60	18.0
要支援2	68	20.4
要介護1	76	22.8
要介護2	59	17.7
要介護3	37	11.1
要介護4	19	5.7
要介護5	14	4.2
無回答	0	0.0

(4) 世帯類型

- ◆ 世帯類型では単身世帯が 32.1%、夫婦のみ世帯が 25.8%となっています。



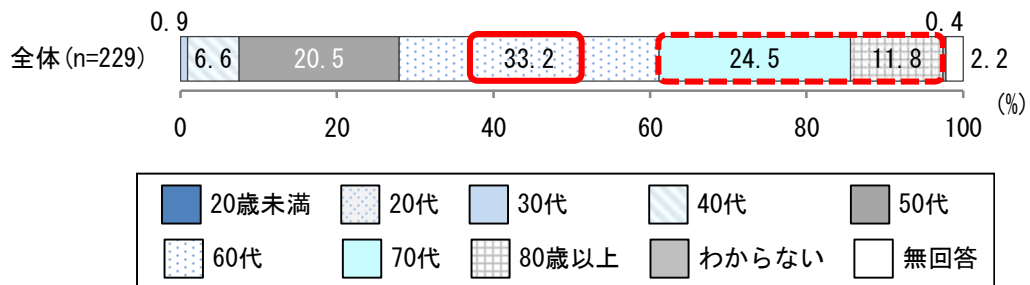
	回答数	(%)
単身世帯	107	32.1
夫婦のみ世帯	86	25.8
その他	129	38.7
無回答	11	3.3

2 在宅での介護状況

(1) 介護者の年齢

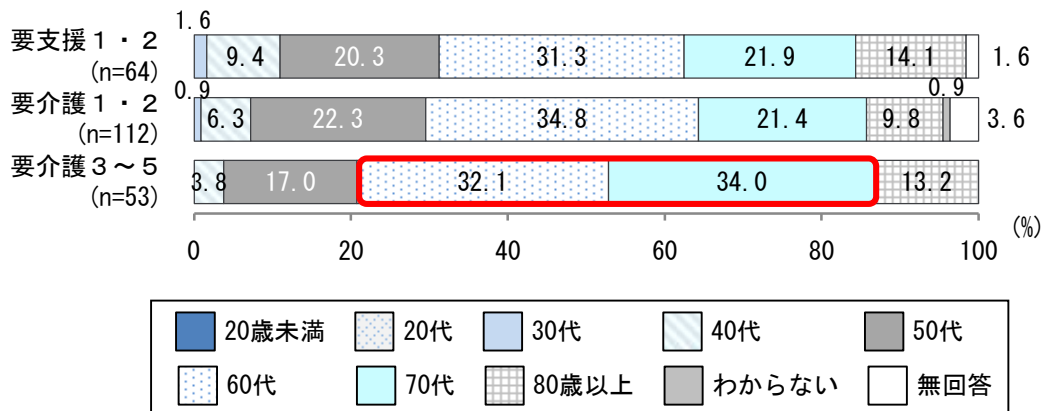
- ◆ 主な介護者の年齢は60代の割合が33.2%と最も高くなっています。また70歳以上の介護者は36.3%となっています。

【主な介護者の年齢】



- ◆ 要介護度別にみると、要介護度が上がるほど高い年齢の割合が高く、要介護3～5では70歳以上の介護者の割合が66.1%となっています。

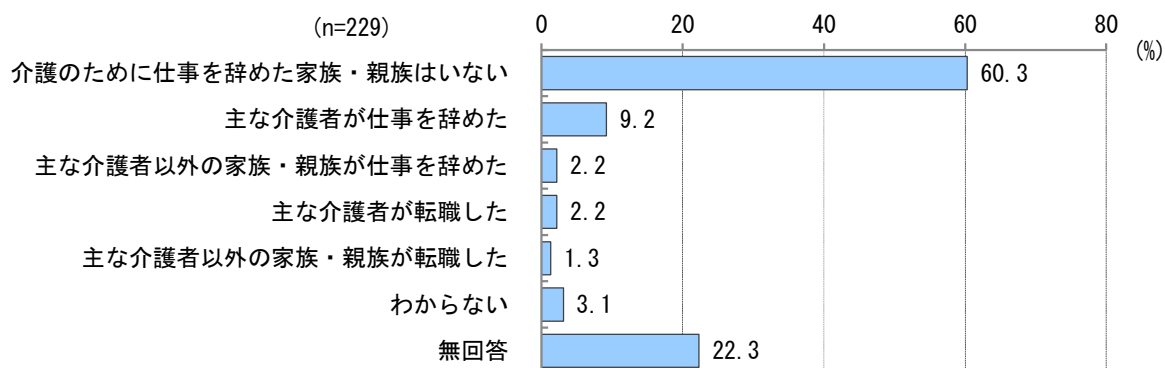
【主な介護者の年齢（要介護度別）】



(2) 介護を理由とした退職者

- ◆ 介護を理由として退職した家族や親族について、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」と回答した人の割合は60.3%となっています。退職した家族や親族がいる人では「主な介護者が仕事を辞めた」と回答した人の割合が9.2%となっています。

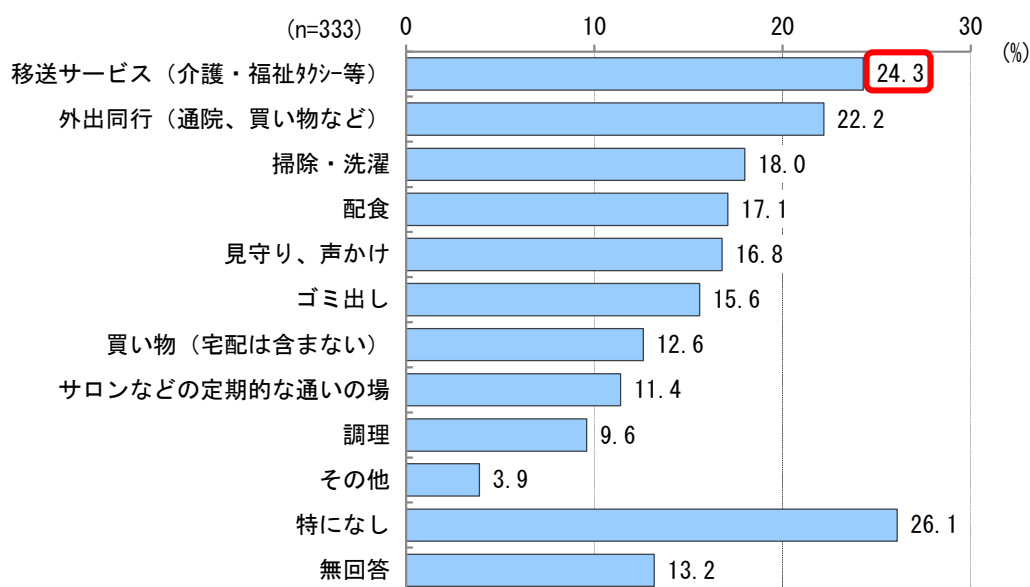
【介護を理由とした退職者】



(3) 在宅生活の継続のために必要だと感じる支援やサービス

- ◆ 在宅生活の継続のために必要だと感じる支援やサービスについて、「移動サービス（介護・福祉タクシー等）」と回答した人の割合が24.3%と最も高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」（22.2%）、「掃除・洗濯」（18.0%）などの順となっています。

【在宅生活の継続のために必要だと感じる支援やサービス】



- ◆ 必要だと感じる支援やサービスがある人を要介護度別でみると、「掃除・洗濯」、「ゴミ出し」と回答した人の割合は要支援1・2で高くなっています。

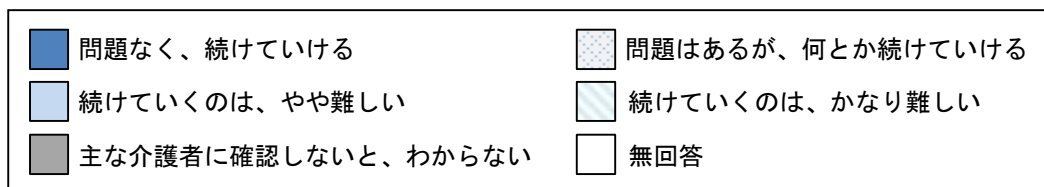
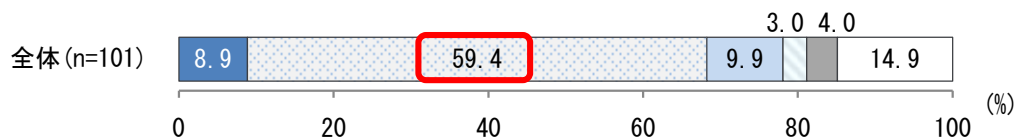
【在宅生活の継続のために必要だと感じる支援やサービス（要介護度別/上位8位）】

	等護移) 送・福 (社サ タビ クシ シ(介)	い外 物出 など (通 院、 買	掃 除 ・ 洗 濯	配 食	見 守 り 、 声 か け	ゴ ミ 出 し	な 買 い 物 (宅 配 は 含 ま ない)	な 通 い の 場 の 定 期 的
全体 n= 333	24.3	22.2	18.0	17.1	16.8	15.6	12.6	11.4
要支援1・2 n= 128	22.7	24.2	20.3	17.2	16.4	21.9	15.6	14.8
要介護1・2 n= 135	25.9	22.2	16.3	17.0	17.8	11.9	8.9	7.4
要介護3～5 n= 70	24.3	18.6	17.1	17.1	15.7	11.4	14.3	12.9

(4) 介護者の就労継続見込み

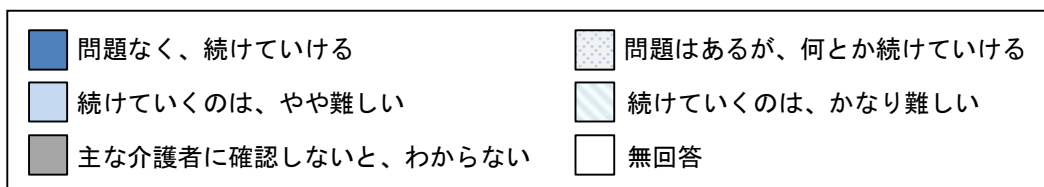
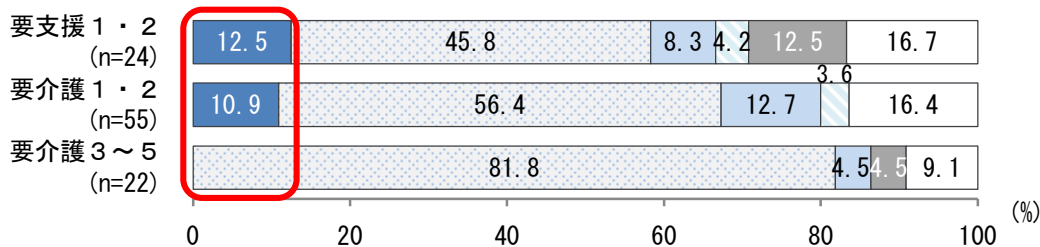
- ◆ 主な介護者の就労継続見込みについて、「問題はあるが、何とか続けていける」と回答した人の割合が59.4%と最も高く、次いで「続けていくのはやや難しい」(9.9%)、「問題なく、続けていける」(8.9%)などの順となっています。

【介護者の就労継続見込み】



- ◆ 要介護度別にみると、「問題なく、続けていける」と回答した人の割合は要介護度が上がるにつれて低くなり、要介護3～5では「問題なく、続けていける」と回答した人はいません。

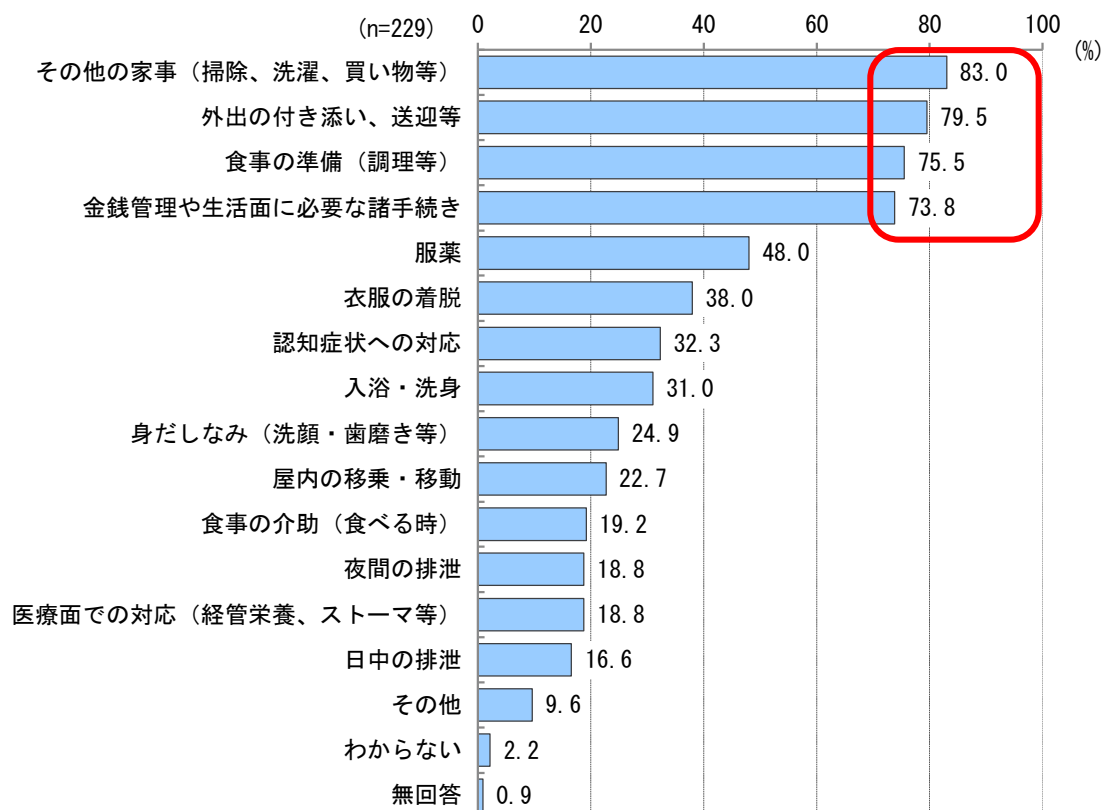
【介護者の就労継続見込み（要介護度別）】



(5) 主な介護者が行っている介護

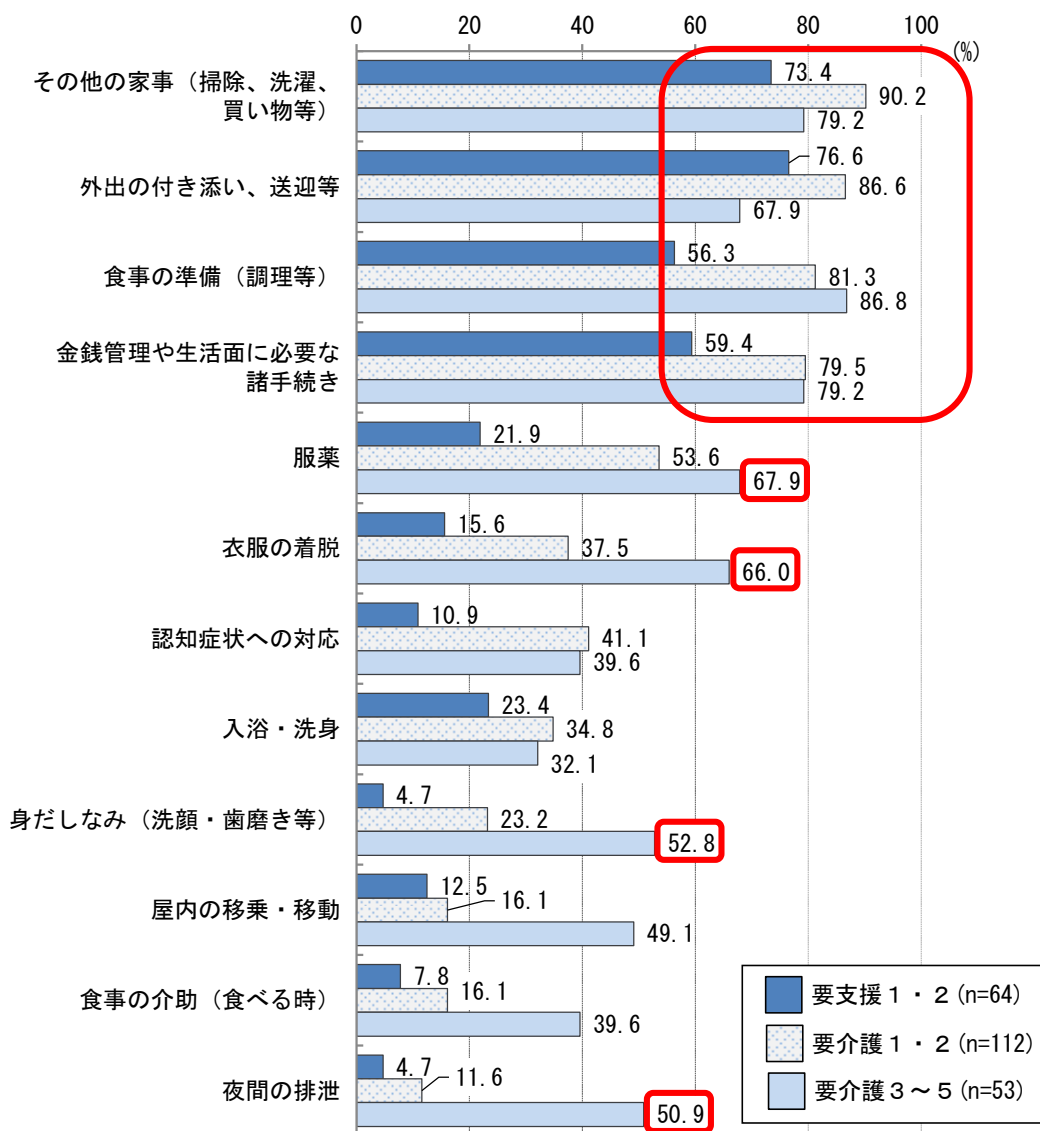
- ◆ 主な介護者が行っている介護について、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」と回答した人の割合が83.0%と最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」（79.5%）、「食事の準備（調理等）」（75.5%）、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」（73.8%）などの順となっています。

【主な介護者が行っている介護】



- ◆ 要介護別にみると、要介護度3～5では全体で上位にあがったものに加え、「服薬」、「衣服の着脱」、「身だしなみ（洗顔・歯磨き等）」、「夜間の排泄」なども50.0%を超え高くなっています。

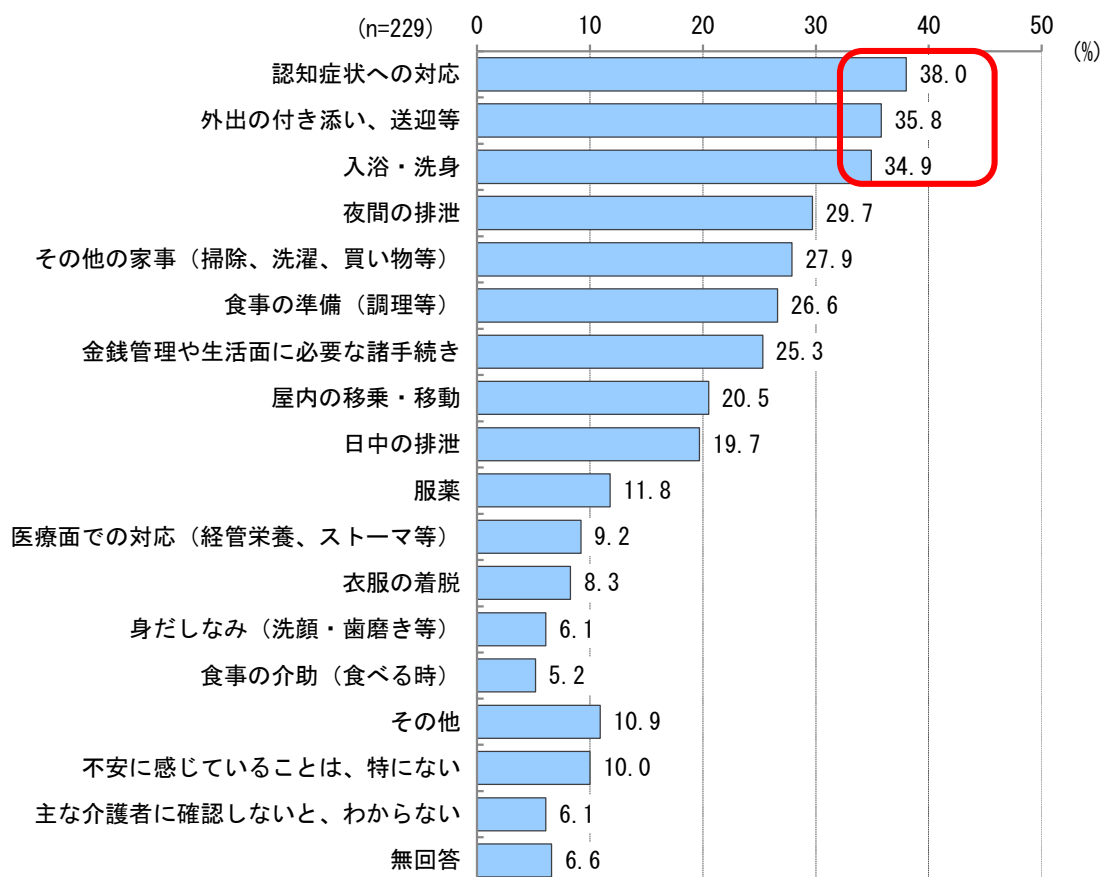
【主な介護者が行っている介護（要介護度別/上位12位）】



(6) 現在の生活を継続していくうえで不安を感じる介護

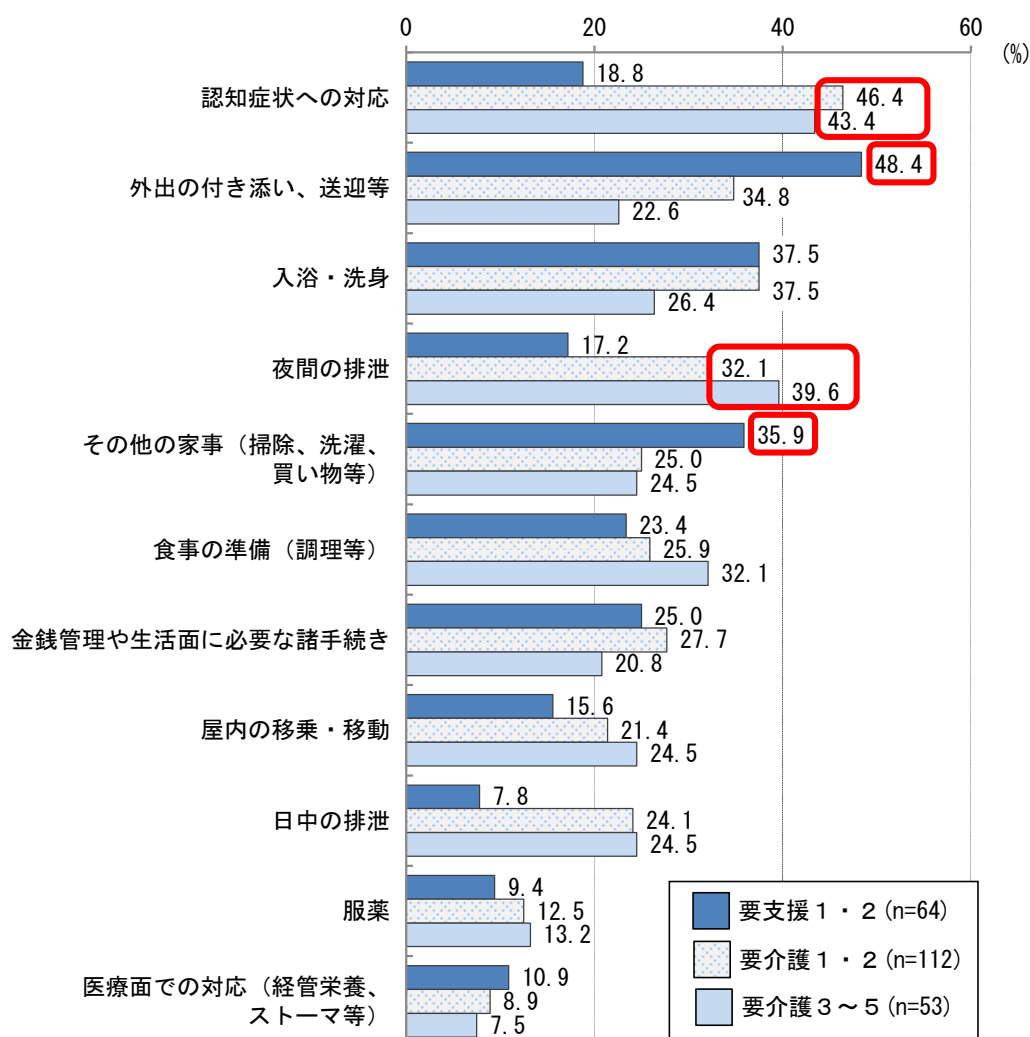
- ◆ 現在の生活を継続していくうえで不安を感じる介護では、「認知症への対応」と回答した人の割合が38.0%と最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」(35.8%)、「入浴・洗身」(34.9%)などの順となっています。

【現在の生活を継続していくうえで不安を感じる介護】



- ◆ 要介護度別にみると、「認知症への対応」と回答した人の割合は要介護1以上で高く、要支援1・2を20.0ポイント以上上回っています。
- ◆ 要支援1・2では「外出の付き添い、送迎等」、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物など）」の割合が高く、要介護1以上では「認知症への対応」、「夜間の排泄」の割合が高くなっています。

【現在の生活を継続していくうえで不安を感じる介護（要介護度別/上位12位）】



3 介護保険サービス以外の支援

- ◆ 介護保険以外のサービスを利用していないと回答した人の割合は50.8%となっています。
- ◆ 利用している人では「配食」と回答した人の割合が高くなっているものの、わずか13.2%となっています。
- ◆ 何らかの介護保険以外のサービスが必要だと感じる人は7割を超えています。
- ◆ すべての項目において、必要だと感じるサービスが利用しているサービスを上回っており、とくに「外出同行（通院、買い物など）」、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」などが20.0%を超え高くなっています。

【利用しているサービスと必要だと感じるサービス】

